

平成 24 年 (2012 年) 5 月 25 日  
山 口 県 病 害 虫 防 除 所

1 病害虫名 キキョウトリバ *Stenoptilia zophodactylus* (Duponchel, 1840)

2 作物名 トルコギキョウ、リンドウ

3 特殊報の内容 県内初発生

#### 4 発生経過

(1) 発生確認月日： 平成 24 年 5 月 10 日

(2) 発生地域： 下関市

(3) 発生状況

平成 24 年 5 月に下関市豊田町の施設栽培トルコギキョウを食害するチョウ目幼虫が発生した。採集した幼虫と蛹を京都府立大の吉安裕氏に同定依頼したところ、キキョウトリバと同定された。本虫は周辺の露地リンドウでも発生しており、トルコギキョウの被害株率は 15%、リンドウの被害茎率は 20%であった。

(4) 他県での発生状況

本種は九州、インド、オーストラリア、ヨーロッパ、南米に分布する。昭和 50 年 (1975 年) に福岡県のトルコギキョウで採集されている。平成 24 年 3 月には島根県でトルコギキョウを対象に特殊報が発表されている。

#### 5 本害虫の特徴

(1) 被害の特徴

トルコギキョウでは幼虫が葉に潜って食害し、花蕾には穴を開けて食入する。リンドウでは新芽をつづって内部を食害する。蕾や新芽に食入を受けた場合は商品価値がなくなる。



図 1 幼虫による葉の被害  
(トルコギキョウ)

図 2 幼虫による蕾の被害  
(トルコギキョウ)

図 3 幼虫による新芽の被害  
(リンドウ)

## (2) 形態

成虫は開張 16～23 mm、幼虫は淡緑色、体長は 10～11 mm 程度である。茎や葉上で蛹化する。



図4 中齢幼虫



図5 老齢幼虫



図6 蛹



図7 雌成虫 (吉安裕氏撮影)

## (3) 生態

ア 寄主植物はリンドウ科の植物である。

イ 詳しい生活史は明らかになっていない。

## 6 防除対策

### (1) 耕種的防除

ハウスの場合は、開口部に防虫ネットや寒冷紗を張り、成虫の侵入を防ぐ。

### (2) 薬剤防除

本種に対する登録農薬はない。